

答えは12! タクシークイズ答え合わせ!

2階 産業課 商工観光係 ☎内線2253



▲ タクシー側面に潜む“やおっち”を探すみなさん

11月12日(土)・13日(日)の両日、産業文化祭会場で、10月にデビューしたばかりの「やおつ春祭りタクシー」クイズ大会が開催されました。

クイズは、「タクシーの車両デザインの中に隠れている『やおっち』の数を当てる」というものです。700名のみなさんがクイズに挑戦、家族や友達同士でワイワイと車両に見入るみなさんの姿が印象的でした。

気になる答えは「12」。267名のみなさんがみごと正解となりました。正解者の中から、抽選で20名様にプレゼントを贈らせていただきます。

また隠れている場所は、八百津町観光協会ホームページ(<http://kankou.yaotsu.jp/>)で公開します。ですが、ぜひタクシー本体で確認してくださいね。

「命のビザ 杉原千畝タクシー」「やおつ春祭りタクシー」2台のラッピングタクシーは、八百津の元気を乗せてがんばって走っています。みなさんの積極的なご利用をお待ちしております。

お礼 クイズにあわせて実施した産業文化祭アンケートにも、多くの方のご協力をいただきありがとうございます。アンケート結果は今後の産業文化祭の運営に役立たせていただきます。

高校生が選ぶ「人権 百人一首」

2階 産業課 地域振興係 ☎内線2252



11月19日(土)は、杉原千畝氏の母校でもある愛知県立瑞陵高等学校内の感喜堂にて、瑞陵高校生との編纂会議が行われました。

杉原千畝記念短歌大会の作品を題材に、愛知県立小牧南高等学校の生徒会役員が、杉原氏の人権・平和精神をよく伝える秀歌百首を選ぶ、杉原千畝記念「高校生が選んだ人権百人一首」の編纂作業に取り組んでいます。

会議は百首の中にある同一作者の作品を一つに絞る作業から始まりました。決定するまでの議論の過程では、「歌の善し悪しだけで短歌を決定するのではなく、百首全体の内容を見ながら、偏りのない作品を選ぼう」という声が挙がるなど、白熱した議論が行われました。

百首が決定した後には並べ方についても討議がなされ、「百人一首冒頭に置かれる一首が大事ではないか」という提案もありました。冒頭の作品は次のとおりです。

せんそうで かなわなかった ゆめがある

勝てばゆめが かなうのですか

久田見小学校四年 後藤累伽(2016年度作品)

小学生が詠んだこの歌には、平和への切実な訴えがあり、参加メンバー全員の思いをこめてこの歌を冒頭に置くことにしました。議論全体として、「短歌としての作品の良さも大切であるが、何より、杉原氏の人権・平和の精神を強く訴える作品を選ぶべきである」とのこと。両校の方針は一致し、会議を終了しました。

今後は、リトアニア・イスラエル両大使館を訪問し、人権百人一首をお届けし、氏から学んだことを報告する予定です。また母校の早稲田大学では、大学生と人権百人一首について意見交換を行う計画をしています。